

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	30日
						点検日	平成26年	6月	30日
事務事業名	一般管理事務費					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	上下水道部 下水道課		業務グループ			記入者氏名	秋山 雄一郎		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					□ 実施計画 対象事業	
	施策名		10 適正に生活排水を処理する						
	基本事業名		1 生活排水処理施設の整備						
予算科目	会計	06	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例、那珂市農業集落排水整備事業分担金に関する条例	
			01	01	01	一般管理事務費			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返			□ 期間限定複数年度		(開始年度 昭和63年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】 農業集落排水事業を行うために必要な料金等の賦課徴収、地方債の借入及び償還、消費税の納付、予算の管理・運営など、特別会計の財務・経理に関する事務全般を行う。					【業務内容】 ・分担金、使用料の賦課徴収 ・地方債の借入、償還 ・消費税の納付				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移

単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等								
④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
整備区域内の受益者	賦課人数(分担金)	人	443	243	155	164	150	
	賦課人数(使用料)	件	9,090	9,842	10,050	10,530	10,650	
②手段(具体的な事務事業のやり方)								
⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
分担金については、6月に納入通知書を発送し、納期内に納付がない場合は督促状・催告書により通知した後、臨戸訪問を行って徴収する。 使用料については、井戸水使用分は分担金と同様の処理を行う。水道水使用分は水道課と合同徴収を行うなどして対応する。	分担金賦課額	千円	73,644	53,611	29,614	17,087	5,887	
	使用料賦課額	千円	60,727	65,123	67,243	69,309	73,309	
	分担金徴収額	千円	67,770	47,714	26,652	15,377	5,297	
	使用料徴収額	千円	58,737	63,274	65,225	67,229	71,109	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)								
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
農業集落排水施設の整備促進により、生活環境の改善を図り、地域の水質保全に寄与する。	分担金徴収率	%	92.02	89.00	90.00	89.99	89.98	
	使用料徴収率	%	96.72	97.16	97.00	97.00	97.00	
(2) 投入量の推移								
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	8,331	4,747	8,118	8,118	8,118	0
	事業費計(A)	千円	8,331	4,747	8,118	8,118	8,118	0
人件費	千円	9,178	9,000	9,000	9,000	9,000		
		1.80人	1.80人	1.80人	1.80人	1.80人		
正規職員	千円	1,712	1,491	1,749	1,749	1,749		
		1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
正規外職員	千円	10,890	10,491	10,749	10,749	10,749		
		1.80人	1.80人	1.80人	1.80人	1.80人		
人件費計(B)	千円	19,221	15,238	18,867	18,867	18,867		
		1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
投入量(A)+(B)	千円							
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	農業集落排水事業を行うにあたり、施設整備に充てる分担金及び維持管理に充てる使用料の賦課徴収、財源不足を補う地方債の借入などを行って、事業の早期進捗と計画的・安定的な運営を図るため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	整備区域の拡大にともなって、高齢化や後継者不足・生活困窮などを理由とする納付困難者が増加傾向にあり、収納率の向上を図る上で、適正かつ柔軟な賦課徴収が求められている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	議会関係者等から、事業費の確保及び受益者の公平性のため、滞納額の削減に努めるよう意見がある。							

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	30日
						点検日	平成26年	6月	30日
事務事業名	農業集落排水処理施設維持管理費					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	上下水道部 下水道課			工務・管理G		記入者氏名	安齋 伸夫		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		10 適正に生活排水を処理する						
	基本事業名		2 生活排水処理施設の維持管理						
予算科目	会計	06	款	項	目	事業名	根拠法令		
			01	01	02	農業集落排水処理施設維持管理費			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 農業集落排水処理区域(汚水処理区域)6地区(戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣)の施設の維持管理を行う。					【業務内容】 ①処理施設の維持管理 ②管路、マンホールポンプ及び中継ポンプ場の管理 ③排水設備接続の宅内検査等				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
汚水処理施設(公共研～汚水管～処理場)						箇所	128	137	145	150	160	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
農業集落排水処理場施設の維持管理(汚泥の引抜、機器の修理、場内除草、水質検査、修繕)、農業集落排水管路等施設の維持管理(管路、マンホール、中継ポンプ)						点検回数(区域箇所)×管理日数	回	2,019	2,130	2,226	2,286	2,406
						水質検査	回	213	213	213	213	213
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
処理施設を適切に維持管理することで、施設の故障等を防止する。						施設故障件数	件	13	21	30	30	30
						水洗化率	%	80.2	89.9	90.0	91.0	92.0
(2)投入量の推移												
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0					
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0					
	一般財源	千円	73,516	78,855	88,748	98,000	98,000					
	事業費計(A)	千円	73,516	78,855	88,748	98,000	98,000					
人件費	千円	7,000	4,850	4,850	4,850	4,850						
正規職員		0.60人	1.30人	1.30人	1.30人	1.30人						
正規外職員		0.50人	1	1	1	1						
人件費計(B)	千円	7,900	4,851	4,851	4,851	4,851						
投入量(A)+(B)	千円	81,416	83,706	93,599	102,851	102,851						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		農業集落排水処理施設の供用開始。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		事業進捗に伴う施設の増により、維持管理業務が増える傾向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		特になし										

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	30日
						点検日	平成26年	6月	30日
事務事業名	農業集落排水整備事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	上下水道部 下水道課			工務・管理G		記入者氏名	安齋 伸夫		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		10 適正に生活排水を処理する						
	基本事業名		1 生活排水処理施設の整備						
予算科目	会計	06	款	項	目	事業名	根拠法令		
			02	01	01	農業集落排水整備事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成2年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要									
【全体概要】 農村区域における河川・水路等の公共用水域の水質改善と生活環境(衛生面)の向上のため農業集落排水の整備を行う。					【業務内容】 汚水を処理する施設の整備を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
鴻巣地区・酒出地区の農業集落排水事業区域内の市民	鴻巣地区計画人口	人	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
	酒出地区計画人口	人	0	0	1,070	1,070	1,070
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・鴻巣地区集落排水管路施設工事の実施 ・鴻巣地区集落排水実施設計委託の実施 ・酒出地区集落排水管路施設工事の実施 ・酒出地区集落排水実施設計委託の実施	鴻巣地区管路整備延長	m	1,942	6,973	8,429	3,000	2,000
	鴻巣地区供用開始人口	人	540	661	1,620	2,160	2,430
	酒出地区管路整備延長	m	0	0	0	3,500	3,500
	酒出地区供用開始人口	人	0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
生活環境の向上と、生活排水の農業用排水路に侵入することを防止することで周辺公共水域の環境向上。	鴻巣地区区域内普及率	%	20.0	24.5	60.0	80.0	90.0
	酒出地区区域内普及率	%	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	102,675	209,000	356,700	300,000	400,000	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	51,364	28,404	409,200	260,000	250,000	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	120,516	309,039	39,926	40,000	50,000	0
	事業費計(A)	千円	274,555	546,443	805,826	600,000	700,000	0
人件費	正規職員	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
投入量(A)+(B)		千円	278,555	550,443	809,826	604,000	704,000	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	公共水域(農業用水路、排水路、溜池等)の水質悪化及び生活環境の改善の要望が強かったこと。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	生活環境の向上等に関心が強まり、また公共用水域の水質保全に対する意識も高まってきた。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	要望・請願等による、早期事業化、早期完成を望む声が多い。

評価対象年度	平成25年度	事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	25日		
点検日	平成26年	6月	25日	事業類型	業務委託					
事務事業名	水道料金賦課徴収事務			事業類型	業務委託					
担当部課G等	上下水道部 水道課		総務グループ		記入者氏名	川上 義和				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第2章 安全で快適な住みよいまちづくり						
	施策名			9 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名			1 水道水の安定供給						
予算科目	会計	水道事業	款	項	目	事業名	根拠法令	水道法		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)				
事業概要										
【全体概要】 水道の開閉栓や水道使用量の検針の他、水道料金に関する業務全般。				【業務内容】 水道料金に関する賦課及び徴収業務 開栓業務、閉栓及び清算業務、使用量検針業務、 納付書発行業務、口座振替業務 収納管理業務(消込・還付・充当)、 未収金回収業務(給水停止含)他						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
水道利用世帯				水道利用世帯数	世帯	19,929	20,237	20,300	20,400	20,500
				水道普及率	%	98.29	98.51	98.54	98.60	98.80
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
水道開閉栓、2ヶ月毎に使用水量検針を行い水道料金の賦課徴収を行う。納期限内に納付が無い者には、未収金回収を行い納付指導、給水停止を行う。				使用水量により算出された水道料金	百万円	1,040	1,044	1,050	1,060	1,070
				開閉栓件数	件	2,718	3,177	3,200	3,300	3,400
				未収金回収訪問件数	件	2,145	2,063	2,100	2,150	2,200
				給水停止件数	件	148	131	140	145	150
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
水道料金の期間内納付の促進を行うことにより、安定した収入を得、安全な水の安定供給を行う。				水道料金収納率	%	95.7	95.9	96.0	96.1	96.2
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画		
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	28,955	29,820	41,941	42,000	42,000	0		
	事業費計(A)	千円	28,955	29,820	41,941	42,000	42,000	0		
人件費	千円	12,533	12,858	12,858	12,858	12,858				
正規職員		2.33人	2.33人	2.33人	2.33人	2.33人				
正規外職員	千円	7,822	7,822	7,822	7,822	7,822				
		5.00人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人				
人件費計(B)	千円	20,355	20,680	20,680	20,680	20,680				
投入量(A)+(B)	千円	49,310	50,500	62,621	62,680	62,680				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			水道事業を開始したことに伴い、水道料金を徴収することとなった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			現在の社会情勢の影響により、水道料金の納期限内に納付できない者が増加している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			隣接市町村に比べ水道料金が高いとの意見がある。また、納付場所を拡大して欲しいとの要望が寄せられている。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み														
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>賦課徴収業務の包括民間委託については費用対効果の点から見送り、必要性が高かった検針業務の民間企業委託を考えた。給水停止処分については一部納付のものについては、市民に対することであり処分を見送った。</p>												
		(予算への反映) <table style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td>千円)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)												
(人件費)	0	千円)												
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)												
(人件費)	0	千円)												
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし												

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 <p>国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？</p>
有効性 評価	② 成果の向上余地 <p>所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？</p>
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 <p>廃止・休止の可能性</p> <p>他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <p>成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <p>事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>

3 計画の部(PLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) </p> <p style="text-align: right;">※担当課長、グループ長、担当者が記載</p>	有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) <p>給水停止前に送付する給水停止事前通知書記載の水道料金が完納しない者について、給水停止を行う。</p>																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) </p> <p>※担当部長が記載</p> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)</p> <p>一次評価の評価意見と同じ。</p>																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) </p>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) </p>																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	25日
						点検日	平成26年	6月	25日
事務事業名	浄水関連施設管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	上下水道部 水道課			工務・管理グループ		記入者氏名	今瀬博之		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		9 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名		1 水道水の安定供給						
予算科目	会計	水道事業	款	項	目	事業名	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 浄水場施設において安全な水をつくり、安定した水の供給ができるよう施設の維持管理を行う。					【業務内容】 施設の点検・清掃・修繕等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
浄配水施設	関連施設の数	箇所	10	10	10	10	10
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の点検・清掃・修繕の実施	定期点検清掃業務数	件	24	26	26	26	26
	修繕業務件数	件	29	43	45	45	45
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設が正常に稼働するように管理を行い、安全な水を安定して供給することにより、快適な生活をしてもらう。	浄水施設要因となる断水等の件数	件	0	0	0	0	0
	水道普及率	%	98.3	98.5	98.5	98.6	98.8

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	102,426	99,730	131,818	131,818	131,818	0
	事業費計(A)	千円	102,426	99,730	131,818	131,818	131,818	0
人件費	千円	15,100	13,840	11,820	9,820	13,840		
正規職員		3.00人	2.70人	2.70人	2.30人	2.30人		
正規外職員	千円	12,960	12,960	8,640	6,480	6,480		
		6.00人	6.00人	4.00人	3.00人	3.00人		
人件費計(B)	千円	28,060	26,800	20,460	16,300	20,320		
投入量(A)+(B)	千円	130,486	126,530	152,278	148,118	152,138		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	取水場及び浄水場の施設が建設され稼働するに伴い、安定供給のための施設管理の業務が開始された。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	全体的に施設の老朽化が進んでいる。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	安心安全な水道水の供給が求められている。

評価対象年度	平成25年度	事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	30日
					点検日	平成26年	6月	30日
事務事業名	配水管網整備事業				事業類型	施設等整備		
担当部課G等	上下水道部 水道課		工務・管理グループ		記入者氏名	小野瀬義宏		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業
	施策名		9 安定的に水道水を供給する					
	基本事業名		1 水道水の安定供給					
予算科目	会計	水道事業	款	項	目	事業名	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 水道水の安定供給を図るために配水管の整備を行う。				【業務内容】 老朽化した配水管の更新。 効率的に水を供給するために新たな配水管網を整備する。				

1 現状把握の部(DOシート)								
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
配水管			配水管総延長					
			m	460,404	463,674	467,644	470,644	473,644
			石綿管残延長					
			m	13,143	12,850	11,350	9,850	8,350
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
新設管布設及び老朽管の更新の実施			新設管布設延長					
			m	3,002	3,544	3,970	3,000	3,000
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
配水管網を整備し、安全な水を安定供給することにより快適な生活をしてもらう。			配水管網整備計画の進捗率(新設管)					
			%	47.0	50.8	55.0	57.8	60.2
			配水管網整備計画の進捗率(石綿管)					
			%	82.5	82.8	84.8	86.8	88.9
			水道普及率					
			%	98.3	98.5	98.5	98.6	98.8
			公道上の漏水事故件数					
			件	17	16	0	0	0
(2)投入量の推移								
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	81,187	150,662	123,948	123,948	123,948	0
	事業費計(A)	千円	81,187	150,662	123,948	123,948	123,948	0
人件費	千円	2,630	6,500	5,400	5,400	5,400		
正規職員		0.51人	1.30人	1.09人	1.09人	1.09人		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	2,630	6,500	5,400	5,400	5,400		
投入量(A)+(B)		千円	83,817	157,162	129,348	129,348	129,348	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ			事業当初に整備された配水管の維持管理の問題解消及び給水増に対応するため配水管網整備が必要となったため。					
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			配水管の整備に加え管の耐震化及び老朽管の更新が必要となっている。					
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			石綿管及び老朽管の整備更新に関する問い合わせがある。					

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	30日
						点検日	平成26年	6月	30日
事務事業名	浄水場等更新事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	上下水道部 水道課		工務・管理グループ		記入者氏名	今瀬博之			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		9 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名		1 水道水の安定供給						
予算科目	会計	水道事業	款	項	目	事業名	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成25年度～平成34年度)				
事業概要									
【全体概要】 久慈川水系の瓜連浄水場・木崎浄水場は、耐用年数が過ぎ老朽化が進み施設機能が低下している。そのために瓜連浄水場と木崎浄水場の統合を行い、施設の維持管理を一元化し安定した浄水場機能を確保するため更新を行う。					【業務内容】 現施設の一部改修と新しい施設の整備				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
更新対象の浄水場						更新対象の浄水場数	箇所	1	1	1	1	1
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
現施設の一部改修と新しい施設の整備						整備実施の施設数	箇所	0	0	0	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設の安定した稼働が確保され、安全な水道水を供給できる。						事業進捗率	%	0.0	1.5	2.3	14.3	26.7
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源 支 出 金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地 方 債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 財 源	千円	0	55,713	30,543	456,587	470,157	0	0	0	0	
事業費計(A)		千円	0	55,713	30,543	456,587	470,157	0	0	0	0	
人 正 規 職 員	千円	0	0.00人	6,190	1.10人	8,820	1.50人	10,440	1.80人	10,440	1.80人	
人 正 規 外 職 員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
人件費計(B)		千円	0	6,190	8,820	10,440	10,440	0	0	0	0	
投入量(A)+(B)		千円	0	61,903	39,363	467,027	480,597					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			瓜連浄水場が老朽化したことにより、維持管理費も増え修繕業務も複雑になってきたため、施設管理の一元化を図るために事業が開始された。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			事業を開始して間もないため目立った変化はないが、年ごとに維持管理が難しくなっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			老朽化した施設の改修・改善が求められている。									

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日		
						点検日	平成26年	6月	19日		
事務事業名	会計事務費					事業類型	一般事務				
担当部課G等	会計課			出納G		記入者氏名	増子 之江				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第6章 行財政運営の効率化による自立したまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		2 健全な財政運営を行う								
	基本事業名		2 健全な財政運営の確立								
予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	04	事業名 会計事務費	根拠法令	地方自治法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 適正な会計事務の執行 公金の管理と運営						【業務内容】 ・各課の収入、支出に伴う伝票を審査・処理・現金・財産の記録・管理 ・共通物品の注文集計及び発注					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
公金全体						収入・支出件数	件	606,931	639,815	639,000	639,000	639,000
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
各課の収入と支払いに伴う伝票の審査及び決算事務、各課の共通物品の注文集計並びに発注業務						収入件数	件	574,760	607,364	607,000	607,000	607,000
						支出件数	件	32,171	32,451	32,000	32,000	32,000
						審査件数	件	606,931	639,815	639,000	639,000	639,000
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
正確で迅速かつ効率的に収入及び支出を行うことにより公金の適正な管理がなされ、市民の市政に対する信頼と安心感が得られる。						一人当たりの審査件数	件/人	101,155	106,636	127,800	127,800	127,800
						一人当たりの出納処理件数	件/人	101,155	106,636	127,800	127,800	127,800
						行政サービスに対する市民満足度	%	50.15	53.68	53.00	53.00	53.00
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,081	2,098	2,277	2,277	2,277	2,277	2,277	2,277	0	
	事業費計(A)	千円	2,081	2,098	2,277	2,277	2,277	2,277	2,277	2,277	0	
人件費	千円	33,000	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	
正職員	人	0.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	
正規外職員	人	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計(B)	千円	33,006	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	30,600	
投入量(A)+(B)	千円	35,087	32,698	32,877	32,877	32,877	32,877	32,877	32,877	32,877	32,877	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						地方財務会計制度による。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						不況のため収入の伸びが期待できないことにより、きめ細かい公金管理をする必要がある。地方自治法の改正により、特別職の収入役が廃止となり、代って一般職の会計管理者が置かれ、人件費の削減が可能となった。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						特になし						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	21日
						点検日	平成26年	7月	2日
事務事業名	議員研修事業					事業類型	委員会・審議会等		
担当部課G等	議会事務局		総務・議事グループ		記入者氏名	渡辺 荘一			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第6章 行財政運営の効率化による自立したまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		3 多様な行政サービスを提供する						
	基本事業名		2 より便利な行政サービスの構築						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市議会基本条例など	
		01	01	01		議員研修事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
議会運営委員会や常任委員会の所管事項調査について、先進地視察や調査を通し議会の政策形成機能の充実を図る。議員の議会活動や市政についての見識を高めるために、研修会を実施する。(有識者による研修や、研修会の参加など)					調査研修視察の実施 議会研修会の実施				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市議会議員						市議会議員	人	22	22	22	22	22
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
調査研修視察の実施 議会研修会の実施						研修会参加回数	回	4	5	4	4	4
						委員会調査視察回数	回	3	6	5	5	5
						研修会開催回数	回	0	0	4	4	4
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が誇れる議会になる						他市町村議会からの視察	件	0	0	3	10	10
(2)投入量の推移												
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画					
事業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0					
	一般財源	千円	2,075	2,542	3,854	3,854	3,854	0				
	事業費計(A)	千円	2,075	2,542	3,854	3,854	3,854	0				
人件費	千円	496	1,054	1,550	1,550	1,550	0.08人	0.17人	0.25人	0.25人		
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
正規外職員	千円	496	1,054	1,550	1,550	1,550	0					
人件費計(B)	千円	496	1,054	1,550	1,550	1,550	0					
投入量(A)+(B)	千円	2,571	3,596	5,404	5,404	5,404	0					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		議員の政策形成能力や知識を高めることを目的に任意の研修会を実施する。委員会調査が必要な場合に対応できる予算を確保するため										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		議員の調査視察に対して、平成24年度に住民監査請求があった。調査視察は、誤解を受けないように、明確な目的により、最小限の経費で実施する。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		従来は補正予算対応となっていたが、必要な予算は当初予算で確保すべきである。										

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
						点検日	平成26年	7月	2日
事務事業名	議会改革推進事業					事業類型	イベント・行事・各種講座教室等		
担当部課G等	議会事務局			総務・議事		記入者氏名	渡辺 荘一		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第6章 行財政運営の効率化による自立したまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		1 効果的・効率的な行政運営を行う						
	基本事業名		5 効果的な行政運営						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市議会基本条例(平成25年10月施行)	
			01	01	01	議会改革推進事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 平成25年度～) (年度～年度)	
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
市民に対して開かれた議会を目指し、議会活動内容を市民に報告し、情報提供を実施していくことにより、議会に対する市民の関心を高め、議会への参加などを促す					議会報告会の開催 インターネットによる議会情報の提供など				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民		市民	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
議会報告会の開催 会議の公開 議会ホームページの充実		議会報告会開催回数	回	0	2	1	1	1	
		委員会公開回数	回	31	39	48	48	48	
		議会ホームページ更新回数	回	0	0	120	120	120	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
議会報告会の参加者数の増 議会傍聴者数の増 議会ホームページアクセス数増		議会報告会参加者数	人	0	140	70	80	80	
		議会傍聴者数	人	413	344	350	350	350	
		議会ホームページアクセス数	回	0	10,000	15,000	15,000	15,000	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	18,537	128	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	18,537	128	0	0	0	
人件費	正規職員	千円	0	4,836	5,952	0	0	0	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	4,836	5,952	0	0	0	
	投入量(A)+(B)	千円	0	23,373	6,080	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ		平成24年3月議員改選より、議会改革を推進する意向が示され、9月に特別委員会を設置し、議会改革を推進し、平成25年10月に議会基本条例を施行した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		議会活性化のために議会改革を推進している市議会が多い。議会の画像をインターネット配信、議会基本条例の制定、議会報告会など議会の活性化を推進している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		議会報告会の開催について、好意的な意見が多く聞かれた							

